

議会報告会実施報告書

| | | | | |
|--------------|--|-----------|---------|---------|
| 開催日時 | 平成26年11月7日（金）17時00分～18時45分 | | | |
| 開催場所 | 明石工業高等専門学校 | | | |
| 出席議員 | 班 長 | 辻本達也 委員長 | | |
| | 司 会 者 | 千住啓介 副委員長 | | |
| | 記 録 者 | 佐々木敏 委員 | | |
| | そ の 他 | 坂口光男 委員 | 山崎雄史 委員 | 遠藤恒司 委員 |
| | | 尾仲利治 委員 | 梅田宏希 議員 | 新田正彦 議員 |
| 参加人数 | 高専学生：18名 高専先生：4名 市理事者：6名 合計：28名 | | | |
| 報告内容に関する質疑応答 | <p>① 明石市みちビジョンについて</p> <p>1、(議員) 道路を賢く使うにはどうすればいいか。高専生の回答は下記提言に。</p> <p>2、(高専生) 博多の屋台を例にあげられたが、市民にまず周知してから、市外に広げていくべきではないか。</p> <p>(議員) その通りである。市民に周知してからということは大事。道に対しては、要望型が多い。しっかりお伝えしてから意見を聞くというのが良いのではないか。</p> <p>3、(議員) 高専の南北道路の安全確保について</p> <p>(高専生) カラー舗装・標識の設置をする。</p> <p>② 空き家対策について</p> <p>1、(議員) 農地は、非常に税金が安くなると思われるがコスト面ではどうか。</p> <p>(高専生) 運営する中で、できたものを売る。利用料を市に渡せる。</p> <p>2、(議員) 非常にいい提案である。ただ立地条件はしっかり考えてやるべきでは。</p> <p>3、(議員) 「空き家食堂」について、いいご提案なので一度やってみたらいいのではないか。</p> | | | |
| | <p>① 明石市みちビジョンについて</p> <p>(高専生からの提言)</p> <p>1、道路を休憩所として利用する。旧街道にベンチを置く。案内板設置。</p> <p>ベンチ・休憩施設に意味を持たせることが大事。不経済な土地利用にならないように、また、たまり場になったり、ごみが散らかったりしないように。旧街道への交通アクセスを充実させることも、大事。</p> <p>2、本当に必要な道路を見極める。</p> <p>3、SNSで市民から道路破損情報を明石市へ報告してもらう体制仕組み作りを。</p> <p>4、谷八木川と、明姫幹線との交点の安全対策を。</p> <p>5、昼は安全であるが、夜、危険になる歩道について安全点検を実施したらどうか。</p> <p>6、歩道の工夫。急に狭くなるのは危険。徐々に狭くするとカラー舗装する。</p> <p>7、再開発事業と一体化した道作りを。</p> <p>都心回遊路（明石公園、天文科学館等）、旧街道バスツアーの開催。</p> <p>8、バスレーンの整備によって、渋滞緩和する。</p> <p>9、街灯のLED化。道路緑化する。特に落葉樹から常緑樹にする。</p> <p>10、イベント開催し、道に興味を持ってもらい、住民の意見・要望を聞き反映。</p> <p>② 空き家対策について</p> <p>(高専生からの提言)</p> | | | |

| | |
|--|--|
| | <p>1、状態の良い空き家については、整備してカルチャー教室にする。新しいコミュニティの形成ができる。空き家を所有者が明石市に登録する。明石市は、空き家を買取る。そして、修復を行う。明石市は、オーナーを募集する。オーナーは明石市から修復された空き家を買取る。明石市は、オーナーに補助金を支給する。オーナーは市民を募る。市民は、会費をオーナーに支払う。オーナーは会費のいくらかを市に返す。</p> <p>状態の悪い空き家は、解体する。解体した方がコストが安い。家より農地の方がランニングコストが安い。明石市の平均的な1戸当たりの面積は30坪程度であるが、農地にできるのは、1戸当たり15坪程度になる。</p> <p>2、空き家を減らして、元気な高齢者を増やすために「つるかめハウス」を提案する。「つるかめハウス」とは、高齢者の自立を即すシェアハウスである。空き家の所有者が、市に登録する。運営と修復は市で担当する。利用者を募集する。利用者は市に家賃を支払う。運営については、4パターンの人が携わる。①空き家所有者は、賃料が収入となる。支出は修理費。②入居者の支出は、賃料と生活費と介護費用。③地域住民は、「つるかめハウス」居住者との活動に参加する。④運営者は、入居者と所有者を結び付ける役割をする。利点は①空き家所有者は、空き家を管理してもらえ。収入源になる。②高齢者は家族の負担を減らし独力で生活できる。話し相手ができ協力し合える。</p> <p>3、「空き家食堂」を提案する。空き家を町の食堂にする。地元の高齢のご婦人に食堂と料理教室を運営してもらう。世代を超えた交流の場が出来る。高専生が壊れた空き家を修復して食堂にする。1年周期で修復をやっていく。5年生と、OB・OGを中心メンバーとする。3・4年生はそのサポートを行う。1・2年生はその現場を見学する。平日の場合は、①9:00～11:00までは準備する。②11:00～14:00まで食堂を運営する③15:00～17:00に料理教室をする。休日の場合は、それにプラスして、17:00～22:00まで居酒屋を開く。宅飲み空き家のチェーン店を目指す。住民のメリットは、安い費用で飲める。料理を学べる。一人暮らしの若者も食べに来るし料理も学べる。高専生も実地で学べる。OB・OGとの交流も生まれる。行政のメリットは、町の交流が生まれ、防犯につながる。収支計算については、収入が年間で、523万5000円、支出が、給与が300万円、運営費が100万円、空き家再生費に123万5000円になる。</p> |
|--|--|

明石市市議会議長 様

平成26年11月17日
上記のとおり報告します。

建設企業常任委員長 辻 本 達 也